

# (公社) 日本地すべり学会関東支部 平成 28 年度第 1 回現地検討会開催報告

## 1. 実施概要

- (1) 開催日：平成 28 年 5 月 10 日（火）
- (2) 開催場所：山梨県富士・東部建設事務所吉田支所  
山梨県南都留郡鳴沢村富士山地区内
- (3) テーマ：富士山の雪崩災害
- (4) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (5) 協力：山梨県富士・東部建設事務所吉田支所
- (6) 講師：渡邊清規，関修，清水敬修（山梨県富士・東部建設事務所吉田支所），上石勲（防災科学研究所雪氷防災研究センター）
- (7) 参加人数：13 名（学会正会員 5 名，非会員 8 名）

## 2. 現地検討会の内容

富士山ではその地形，気象条件から，雪崩災害が古くから確認されている。近年でも雪崩により山梨県側の 5 合目に至る有料道路である富士スバルラインが複数個所で被災しているほか，今年に入ってから 2 月 14 日に降った大雨の影響で吉田大沢において雪崩が発生し周辺施設に被害を与えた。これに対して山梨県では覆道（洞門）や導流堤などを設け，これら雪崩による被害防止に努めている。

本検討会では事務所内にて山梨県富士・東部建設事務所吉田支所の清水氏，渡邊氏より富士山 4 合目，5 合目における雪崩災害の事例とその対策，および本年発生した吉田大沢における被害の発生状況について，それぞれご説明いただいた後，防災科学研究所雪氷防災研究センターの上石先生より雪崩のメカニズム等について講義を受けた。その後，現地に移動し富士山 4 合目から 5 合目にかけての雪崩被災現場を視察した。質疑応答の際には富士山の地形，気象条件に起因した施工条件や，周辺環境へ配慮した施工方法などについて意見が交わされた。

## 3. おわりに

本検討会では，昨年度の伊豆大島，楠田地すべりに引き続き，学生からベテランの技術者に至るまで幅広い年代の方々にご参加頂いた。関東支部では，今後も防災教育や学生・若手技術者の育成をテーマとした活動を実施していく予定である。

本現地検討会の開催にあたり，御協力頂いた山梨県富士・東部建設事務所吉田支所ほか関係者各位には大変お世話になりました。ここに記して，厚く御礼申し上げます。

## 参考文献

上石勲（2015）：富士山で発生する雪崩，平成 27 年度（公社）日本地すべり学会関東支部シンポジウム-富士山の斜面災害-概要集，pp. 16-25.



写真-1 概要説明状況



写真-2 視察状況



写真-3 現地見学終了時の集合写真

(関東支部幹事会 齊藤雅志・林 一成・木村勝美)